

# V

## 専門教育 スポーツ健康学科について





# 教育課程の特徴



教育課程とは、教育目標を達成するための具体的な教育内容（授業科目）を、どのような順序で履修するかを規定（学年別に配列）したものである。

スポーツ健康学科では多面的な視点から「スポーツと健康」を探求・究明する人材の育成を目標としており、「教養教育科目」、「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」の区分で科目が配置されている。また、「専門教育科目」は、領域ごとに履修できる科目群が異なるため、学生諸君は、卒業後の進路を見据えて、4年間の履修計画を作成する必要がある（p54～61参照）。

## スポーツ健康学科の教育課程の概要

- ① 「教養教育科目」は、大学生としての幅広い教養と社会性に必要なアカデミックスキルやライフデザインスキル獲得のための共通コア科目と、共通選択科目を配置している。
- ② 「専門基礎教育科目」は、「専門教育科目」への導入とし、「スポーツ」「健康」を理解する基礎となる科目群を配置している。（p62～63）
- ③ 「専門教育科目」は、体系的な知識を応用し、実践する能力を養う科目を配置している。健康支援人材として必要な「スポーツ」「健康」に関する発展的内容で構成されている。「専門教育科目」は領域別に授業科目が配置されている（p64～72参照）。

スポーツ健康学科の教育課程の概要



## スポーツ領域と健康領域の特徴



スポーツ健康学科には、スポーツ領域、健康領域の2領域が設定されている。この領域の選択は、2年次の前期に行う。選択した領域によって取得できる免許・資格が異なるので、自分自身が最も目指している将来像を意識して選択することが重要である。以下は提供されている2つの領域の特徴である。

### スポーツ領域

スポーツパフォーマンスの向上、アスリートの養成、ハイレベルな指導者の養成を目指すために必要なスポーツ科学、マネジメントを学ぶ。科学的なスポーツ理論・実践を通じて専門的知識をあらゆる角度から習得し、学識豊かなスポーツ指導者の育成を目指す。

取得できる免許・資格（詳細はp73～79を参照）

- 保健体育教諭免許（中学校、高等学校）
- 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格（共通科目Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲの免除、ジュニアスポーツ指導員の受験資格、スポーツプログラマーの受験資格）
- 日本トレーニング指導者協会認定 トレーニング指導者の受験資格
- 健康運動実践指導者の受験資格

### 健康領域

個々ならびに社会全体のウェルネスを向上させるための健康科学理論と方法論を学び、健康増進や疾病予防、健康長寿などの観点から健康を支援する人材の育成を目指す。

取得できる免許・資格（詳細はp73～79を参照）

- 養護教諭一種免許
- 第一種衛生管理者免許
- 健康運動指導士の受験資格
- 健康運動実践指導者の受験資格
- 社会福祉主事任用資格

### 【領域選択時の留意点】

- ① 領域選択時には「スポーツ領域」、「健康領域」「両領域（跨ぎ）」「領域の選択しない」のいずれかを選択する。ただし、「両領域（跨ぎ）」を選択した場合、2年終了の時点で、GPAが3.3未満及び72単位未満取得の場合は、「スポーツ領域」「健康領域」の希望するどちらかの領域に属することになる。また、「両領域（跨ぎ）」を選択した場合、2年次終了時点で、上記の基準以上の成績、単位数を取得している場合には、領域を超えての科目履修（免許・資格の取得）ができる。
- ② 科目によっては、領域の学生を優先する場合がある。※シラバスを参照すること。
- ③ 履修計画や時間割の作成方法については、新入生オリエンテーションで説明するが、わからないことがあれば、クラス担当教員、学生リーダーに相談すること。
- ④ 履修計画をうまく立てないと充実した学生生活を過ごすことが出来ないだけでなく、4年間で卒業できない場合もある。

## 授業科目の区分と卒業に必要な単位数



スポーツ健康学科が開設する授業科目は、「教養教育科目」、「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」に分けられ、「教養教育科目」はさらに小さく区分されている。卒業するためには、合計で124単位以上を修得する必要があるが、それぞれの科目区分ごとに取らなければならない単位数があり、このルールを守らなければ124単位以上修得しても卒業することはできない。なお、アカデミックスキル科目(「数理・データサイエンス・AI入門」のみ)、ライフデザイン科目、専門基礎教育科目、専門教育科目区分から取るべき単位数を越えて修得した単位及び教職に関する科目は、「自由選択科目」としてカウントされる。

授業科目の区分		必修	選択	卒業に必要な単位	小 計	
教養教育科目	共通コア科目	アカデミックスキル	8	0	8単位	32単位以上
		ライフデザイン	2	0	2単位以上	
		思想と論理	0	2	2単位以上	
		沖縄理解	0	2	2単位以上	
		健康スポーツ	0	2	2単位以上	
	共通選択科目	外国語	6	2	8単位以上	
		国際理解	0	2	2単位以上	
		人文科学	0	2	2単位以上	
		社会科学	0	2	2単位以上	
		自然科学	0	2	2単位以上	
専門科目	専門基礎教育科目	12	10	22単位以上	22単位以上	
	専門教育科目	8	52	60単位以上	60単位以上	
自由選択科目	0	10	10単位以上	10単位以上		
合 計		36	88	124単位以上		

CAP制と例外科目：名桜大学では1つの学期で登録できる単位の上限は20単位と規定されている。

しかし、スポーツ健康学科では、下記科目に関しては、20単位を超えて登録が可能である。

- ・専門基礎教育科目の必修科目(スポーツ健康学総論、スポーツ健康演習、ウェルネス概論、発育発達学、救急処置、生涯スポーツ論)
- ・集中講義
- ・教職に関する科目
- ・寄付講座の科目

※教職に関する科目：p208別表7及び別途配布される『教職課程の手引き』の「教育の基礎的理解に関する科目等」も参考にすること。



## ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)

①～⑤の能力を身につけた学生に学位を授与する。

- 1 高い倫理観と幅広い教養およびスポーツ健康科学分野における専門的知識・技能
- 2 探求し続けるための生涯学習力

### 4年次の目標

これまでの学修によって培われた能力を活用して卒業研究をまとめ、ディプロマ・ポリシーで示された能力を最大限に高める。

### 3年次の目標

実践的な学びを通して、健康支援人材としての使命・義務を理解し、行動できる。

### ゼミ制

### 2年後期にゼミ選択

### 2年次の目標

人間を多角的に理解し、体育・スポーツ、健康の基礎知識・技能を身につける。

### 2年前期に領域選択

### 1年次の目標

大学生として幅広い教養と社会性を身につける。

### クラス制

## アドミッション・ポリシー (入学者受入の方針)

スポーツ健康学科の教育目標を達成するために、本学科に入学を希望する人には以下のことを求めます。

- 1 豊かな個性と強い学習意欲を有し、主体的に取り組む姿勢を持っていること。
- 2 基本的な学習スキルを活用し、他者との対話や議論を通して、現代社会の課題を理解・分析したうえで、自らの考えを多様な方法で表現できること。

### 取得可能資格

保健体育教員、日本スポーツ協会指導者資格  
健康運動実践指導者 JATI

## スポーツ領域

教育実習（保健体育）

空手・古武道概論 トレーニング論演習

コーチング演習 海洋スポーツ演習 動作学演習 スポーツ心理学演習

スポーツマネジメント 体力・健康測定と評価

ソフトボール 球技論 スポーツ史 スポーツ指導論

柔道 剣道 空手 舞踊 琉球舞踊 エアロビクスⅠ・Ⅱ

テーピング・マッサージ スクーバダイビングⅠ・Ⅱ

バスケットボール バレーボール サッカー

ハンドボール 卓球 ゴルフⅠ・Ⅱ

スキー・スノーボード

陸上競技 水泳

体づくり運動 器械運動

教職科目 体育原理・運動学  
(保健体育)

### 専門基礎科目

医学一般 解剖学

衛生学・公衆衛生学

救急処置 生涯スポーツ論

スポーツ健康学総論

### 全学教養科目 共通選択科目

外国語・国際理解・人文科学・  
社会科学・自然科学

- 3 課題発見・設定し、解決する力。わかりやすく表現する力
- 4 協働して問題解決するためのチームワークやリーダーシップ
- 5 自らを律しながら、主体的・計画的に行動する力

## スポーツ健康学士

取得可能資格

養護教諭 健康運動指導士  
健康運動実践指導者 第一種衛生管理者  
社会福祉主事任用資格

### 健康領域

卒業研究演習Ⅲ・Ⅳ

養護実習（養護）

卒業研究演習Ⅰ・Ⅱ

看護実習Ⅰ・Ⅱ

地域ウェルネスプロジェクト

健康産業施設等現場実習

グローバルヘルス

労働衛生学概論

労働法規Ⅰ・Ⅱ

生理学・運動生理学演習

衛生学・公衆衛生学演習

運動負荷試験

養護概説 学校救急看護学  
健康相談活動の理論及び方法

スポーツ栄養学

スポーツ障害と予防

運動処方論

医学一般Ⅱ

安全管理論および方法

野外教育論

レジャー・レクリエーション論

精神保健

レクリエーション実技

ウインドサーフィン

スポーツバイオメカニクス

微生物学

免疫学

病理学

薬理概論

体育心理学 体育社会学

心の健康

健康心理学

社会福祉援助技術

コーチ学

トレーニング論

学校保健

看護学

障害者・高齢者福祉  
児童福祉

看護基礎技術

インターンシップⅠ・Ⅱ

生理学・運動生理学

栄養学 社会福祉概論

スポーツ健康学特別講義

教職科目

ウェルネス概論 人体機能学

スポーツ健康学特別実技

（養護）

スポーツ健康演習 発育発達学

### 全学教養科目 共通コア科目

アカデミックスキル・ライフデザイン・思想と倫理・  
沖縄理解・健康スポーツ

- 3 スポーツ健康学科の特徴を正しく理解し、高等学校教育における教科を全般的に修得していること。また、スポーツ健康科学に必要な保健および体育の内容について基礎的・基本的な知識および技能を身につけていることが望ましい。
- 4 健康を科学的視点から探究し、地域社会や国際社会において健康づくりを支援する意欲があること。
- 5 スポーツ科学や健康科学に興味・関心があり、大学においても習慣的な運動や健康づくりの意欲があること。

# 年次開講科目



②：必修 ②①選択必修

年次		1年次				
教養教育科目	共通コア科目	アカデミックスキル科目	教養演習Ⅰ	②	教養演習Ⅱ	②
			アカデミックライティング	②	コンピュータ・リテラシー	②
		ライフデザイン科目	大学と人生	②		
		思想と論理科目	※	②		
		沖縄理解科目	※	②		
		健康スポーツ科目	体育実技Ⅰ	②	体育実技Ⅱ	②
	共通選択科目	外国語科目	ベーシック・イングリッシュ	②	イングリッシュ・コミュニケーション	②
		国際理解	※	②		
		人文科学	※	②		
		社会科学	※	②		
自然科学		※	②			
専門科目	専門基礎教育科目	スポーツ健康学概論	②	スポーツ健康演習	②	
		ウェルネス概論	②	発育発達学	②	
		救急処置	②	生涯スポーツ論	②	
		人体機能学	②			
	専門教育科目	運動学	②	バスケットボール	①	
		器械運動	①	サッカー	①	
		陸上競技	①	ハンドボール	①	
		水泳	①	バレーボール	①	
		ゴルフⅠ	①	スキースノーボード	①	
		スクーバダイビングⅠ	①	ゴルフⅡ	①	
		体育原理	②			
自由選択科目	◎自由選択科目には、ライフデザイン科目、専門基礎教育科目、					
取得単位数		20		20		

進級要件

2セメスタ以上在学

2年次			3年次			4年次			卒業要件				
※この科目群は選択必修で、各科目最低2単位修得が必要です。履修計画をしっかりと立てて履修忘れのないようにしましょう。 ★スポーツ健康学科は、健康スポーツ科目の体育実技Ⅰ・Ⅱ履修を行います。									16				
アカデミック英語基礎	②		※選択必修で2単位外国語の履修が必要です。						8				
※この科目群は、選択必修で各科目最低2単位修得が必要です。履修計画をしっかりと立てて履修忘れのないようにしましょう。									16				
解剖学	②	衛生学・公衆衛生学	②	※下線のある科目は、CAP制（1セメスタで履修登録できる20単位数）に含まれません。						22	22		
医学一般	②	社会福祉概論	②										
栄養学	②	生理学・運動生理学	②										
体育心理学	②	体づくり運動	①	体育経営管理学	②	剣道	①	60			60		
体育社会学	②	卓球	①	動作学演習	②	ソフトボール	①						
コーチ学	②	空手	①	スポーツ心理学演習	②	柔道	①						
トレーニング論	②	ウインドサーフィン	①	体育・スポーツ史	②	琉球舞踊	①						
スポーツバイオメカニクス	②			球技論	②	舞踊	①						
				コーチング演習	②	スポーツマネジメント	②						
				レクリエーション実技	①	海洋スポーツ演習	②						
レジャー・レクリエーション論	②	学校保健	②	スポーツ指導論	②	トレーニング論演習	②						
野外教育論	②	スポーツ栄養学	②	体力・健康測定と評価	②	スポーツ障害と予防	②						
安全管理論及び方法	②	テーピング・マッサージ	①	精神保健	②	運動処方論	②						
医学一般Ⅱ	②	心の健康	②	生理学・運動生理学演習	②	空手・古武道概論	②						
インターンシップⅠ	②	インターンシップⅡ	②	地域ウェルネスプロジェクト	②								
健康教育	②	介護概論	②	労働衛生学概論	②	運動負荷試験	②						
保健衛生学	②	社会福祉援助技術	②	労働法規Ⅰ	②	労働法規Ⅱ	②						
病理学	②	障害者・高齢者福祉	②	看護概説	②	健康相談活動の理論及び方法	②						
免疫学	②	児童福祉	②	学校救急看護学	②	衛生学・公衆衛生学演習	②						
微生物学	②	健康心理学	②	看護実習Ⅰ	①	看護実習Ⅱ	③						
看護学	②	看護基礎技術	②	健康産業施設等現場実習	②								
グローバルヘルス	②	エアロビクスⅠ	①	エアロビクスⅡ	①								
				卒業研究演習Ⅰ	②	卒業研究演習Ⅱ	②	卒業研究演習Ⅲ	②	卒業研究演習Ⅳ	②	8	
専門教育科目及び教職に関する科目を含めることができる。									10	10			
	20		20		20		2		2	124	124		

2セメスタ以上在学＋  
60単位修得

2セメスタ以上在学＋  
専門基礎教育科目必修＋  
卒研Ⅰ・卒研Ⅱ

# [スポーツ領域] 履修モデル



②：必修 ②①選択必修

年 次		1 年次				
教養教育科目	共通コア科目	アカデミックスキル科目	教養演習Ⅰ	②	教養演習Ⅱ	②
			アカデミックライティング	②	コンピュータ・リテラシー	②
		ライフデザイン科目	大学と人生	②		
		思想と論理科目				②
		沖縄理解科目				②
		健康スポーツ科目	体育実技Ⅰ	①	体育実技Ⅱ	①
						16
共通選択科目	外国語科目	ベーシック・イングリッシュ	②	イングリッシュ・コミュニケーション	②	
	国際理解					
	人文科学					
	社会科学					
	自然科学					
					4	
専門科目	専門基礎教育科目	スポーツ健康学概論	②	スポーツ健康演習	②	
		ウェルネス概論	②	発育発達学	②	
		救急処置	②	生涯スポーツ論	②	
		人体機能学	②			
						【CAP外12単位】
	専門教育科目	運動学	②	水泳	①	
		体育原理	②	陸上競技	①	
		ゴルフⅠ	①	ゴルフⅡ	①	
		ハンドボール	①	サッカー	①	
		バレーボール	①	スクーバダイビングⅠ	①	
					12	
自由選択科目		◎自由選択科目には、ライフデザイン科目、専門基礎教育科目、				
取得単位数		【CAP外12単位】				46

2年次		3年次		4年次		修得 単位	卒業 要件	
						8	32	
						2		
						6		
						16		
アカデミック英語基礎	②					8		
※	②					8		
			②			8	22	
			②					
				②				
	②					2		
	6		4			16		
解剖学	②	※下線のある科目は、CAP制（1セメスタで履修登録できる20単位数） に含まれません。					24	
栄養学	②							
医学一般	②							
衛生学・公衆衛生学	②							
生理学・運動生理学	②							
	10					24		
体育心理学	②	体育経営管理学	②			60	10	
体育社会学	②	動作学演習	②					
コーチ学	②	スポーツ心理学演習	②					
トレーニング論	②	体育・スポーツ史	②					
レジャー・レクリエーション論	②	球技論	②					
スポーツ栄養学	②	コーチング演習	②					
安全管理論及び方法	②	スポーツ障害と予防	②					
野外教育論	②	運動処方論	②					
スポーツバイオメカニクス	②	海洋スポーツ演習	②					
バスケットボール	①	スポーツ指導論	②					
スクーバダイビングⅡ	①	生理学運動生理学演習	②					
卓球	①	スポーツマネジメント	②					
ウインドサーフィン	①	トレーニング論演習	②					
テーピング・マッサージ	①	空手・古武道概論	②					
空手	①	ソフトボール	①					
		剣道	①					
		レクリエーション実技	①					
		卒業研究演習Ⅰ	②	卒業研究演習Ⅲ	②			
		卒業研究演習Ⅱ	②	卒業研究演習Ⅳ	②			
	24		36					4
専門教育科目及び教職に関する科目を含めることができる。						2+16	10	
	40		40			6	132	124

# [健康領域] 履修モデル



②：必修 ②①選択必修

年 次		1 年 次				
教養教育科目	共通コア科目	アカデミックスキル科目	教養演習Ⅰ	②	教養演習Ⅱ	②
			アカデミックライティング	②	コンピュータ・リテラシー	②
		ライフデザイン科目	大学と人生	②	プロジェクト学習	②
		思想と論理科目				②
		沖縄理解科目				②
		健康スポーツ科目	体育実技Ⅰ	①	体育実技Ⅱ	①
					18	
共通選択科目	外国語科目	ベーシック・イングリッシュ	②	イングリッシュ・コミュニケーション	②	
	国際理解					
	人文科学					
	社会科学					
	自然科学					
					4	
専門科目	専門基礎教育科目	スポーツ健康学概論	②	スポーツ健康演習	②	
		ウェルネス概論	②	発育発達学	②	
		救急処置	②	生涯スポーツ論	②	
		人体機能学	②			
						【CAP外12単位】 14
	専門教育科目	ゴルフⅠ	①	ゴルフⅡ	①	
		スキー・スノーボード	①	スクーバダイビングⅠ	①	
		バレーボール	①	バスケットボール	①	
		サッカー	①	ハンドボール	①	
		バレーボール	①	バスケットボール	①	
		水泳	①			
					9	
自由選択科目	◎自由選択科目には、ライフデザイン科目、専門基礎教育科目、					
取得単位数					【CAP外12単位】 45	

2年次		3年次		4年次		修得 単位	卒業 要件
						8	32
						4	
						6	
						18	
アカデミック英語基礎	②	※	②			8	
		※	②			8	
		※	②				
		※	②				
		※	②				
	2		10			16	
解剖学	②	※下線のある科目は、CAP制（1セメスタで履修登録できる20単位数）に含まれません。				22	
医学一般	②						
栄養学	②						
衛生学・公衆衛生学	②						
社会福祉概論	②						
生理学・運動生理学	②						
	12					26	
健康教育	②	労働衛生学概論	②			60	
保健衛生学	②	労働法規Ⅰ	②				
医学一般Ⅱ	②	精神保健	②				
介護概論	②	衛生学・公衆衛生学演習	②				
スポーツ栄養学	②	レクリエーション実技	②				
安全管理論及び方法論	②	地域ウェルネスプロジェクト	②				
レジャー・レクリエーション論	②	空手・古武道概論	②				
健康心理学	②	労働法規Ⅱ	②				
心の健康	②	児童福祉	②				
社会福祉援助技術	②	障害者・高齢者福祉	②				
グローバルヘルス	②	免疫学	②				
病理学	②	海洋スポーツ演習	②				
野外教育論	②	琉球舞踊	①				
		舞踊	①				
		卒業研究演習Ⅰ	②	卒業研究演習Ⅲ	②		
		卒業研究演習Ⅱ	②	卒業研究演習Ⅳ	②		
	26		30		4	69	
専門教育科目及び教職に関する科目を含めることができる。						2+4+7 (13)	10
	40		40		4	129	124



## I 取得できる免許・資格紹介

### 1 保健体育教諭免許

スポーツ健康学科で取得可能な保健体育の免許状は、中学校教諭一種免許状と高等学校教諭一種免許状である。保健体育は、「心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育てることを重視する観点から、運動や健康に関する課題を発見し、その解決を図る主体的・協働的な学習活動を通して、『知識・技能』、『思考力・判断力・表現力等』、『学びに向かう力・人間性等』を育成する」ことを教科の目標としている。保健体育教諭を目指す者は、この目標を理解するとともに保健体育教諭としての資質や能力の基礎を培い、実践力を身に付けなければならない。また、運動指導に関する実践力を高めるために、教職の授業を履修するだけでなく運動部活動を4年間継続することを強く薦める。

### 2 養護教諭一種免許

スポーツ健康学科では、所定の科目を修得することにより養護教諭一種免許状が取得可能となる。養護教諭は、学校教育法において「養護をつかさどる」と職務が規定され、①救急処置、健康診断、疾病予防などの保健管理、②保健教育、③健康相談活動、④保健室経営、⑤保健組織活動などの「児童生徒の健康の保持増進に関わるすべての活動」を行っている。さらに、多様化・複雑化する子どもの心身の健康問題に対応するため、校内外の関係者と連携・協働を図るコーディネーターとしての役割も求められている。養護教諭を目指す学生は、専門職として多職種との連携・協働しながら多様化・複雑化する子どもの健康課題の解決を図ることができるよう、養護教諭の職務を理解し、専門性を身に付ける必要がある。

※保健体育教諭免許状、養護教諭免許状を取得するためにはスポーツ健康学科の専門教育科目、専門基礎教育科目に配置される授業（教科に関する科目）の他に教職科目に配置される授業（教職に関する科目）を修得しなければならない。**保健体育教諭や養護教諭の免許状に関する科目の詳しい履修の方法や条件は、別途配布される「教職課程のてびき」に詳しい説明がされているので、そちらを参考にすること。**

	保健体育教諭		養護教諭
	中学校	高等学校	
教育の基礎的理解に関する科目等	27	23	21
教科及び教科の指導法に関する科目	28	24	
養護に関する科目			28
大学が独自に設定する科目	4	12	7
合計最低修得単位数	59	59	56

### 3 第一種衛生管理者免許

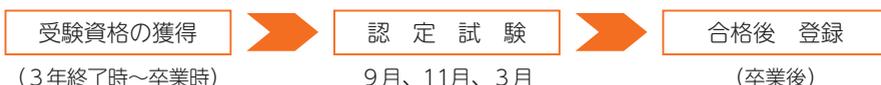
本学部においては、指定の授業科目を修得して卒業することにより「第一種衛生管理者」の免許申請を行うことができる。目指せる職業は、衛生管理者である。

衛生管理者（厚生労働省許可の国家資格）は、安全労働衛生法に基づき、常時50人以上の労働者を雇用する事業所に置くこととされている。その主な目的は、作業場の設備、作業方法又は衛生状態に有害なおそれがある場合、労働者の健康障害等を防止するために必要な措置等を講じることである。さらに健康保持増進対策としてT・H・P（トータル・ヘルス・プロモーションプラン）を体系的に推進するために、職場の健康管理体制の中では、重要なスタッフとして位置づけられている。衛生管理者の職務内容は、一般的には事業場における①作業環境の管理、②作業条件等の作業管理、③職員の労働衛生教育等である。

#### 4 健康運動指導士

健康運動指導士は、健康づくりのための運動指導者に与えられる称号の一つである。呼吸・循環器系の生理機能の維持・向上を図ることによって、動脈硬化、心臓病、高血圧等の生活習慣病を予防し、健康水準を保持・増進する観点から、医学的基礎知識、運動生理学の知識等に立脚し個人に対して、安全で効果的な運動を実施するための運動プログラムの作成、および指導を行うことができると認められた者に与えられる。主として健康増進センター、保健所、市町村保健センター、病院、民間健康増進施設（フィットネスクラブ等健康づくりのための運動を行うための施設）などにおいて、健康づくりのための運動指導に従事している者、また従事しようとする者が、この称号を取得している。

平成19年度より本学科が養成校として承認された。指定の科目を在学中に修得することによって、講習会への参加が免除され、健康運動指導士受験資格が与えられる。認定試験の受験は、指定された科目をすべて修得（単位認定）している必要がある。早ければ4年生9月の認定試験を受験することができる。



#### 4-2 健康運動実践指導者

健康運動実践指導者は積極的な健康づくりを目的とした運動を安全かつ効果的に実践指導できる能力を有する者で、健康づくりのための運動の専門知識を備え、自ら見本を示せる実技能力と、特に集団に対する運動指導技術に長けた者に与えられる称号である。

健康の概念や我が国が直面している健康課題、さらに生活習慣の乱れやストレスが健康に及ぼす影響などを学んでいる健康運動実践指導者は、健康づくりのさらなる国民運動化（ポピュレーションアプローチ）だけでなく、子供達の発達段階をふまえた健康教育の支援も行うことができる人材である。

本学科は、平成24年度より養成校として承認された。指定の科目を在学中に修得することによって、講習会への参加が免除され、認定試験の受験資格が与えられる。計画的に履修を行えば、3年次に健康運動実践指導者認定試験（①実技試験、②筆記試験）の受験が可能となり、合格後、在学中に資格を取得することができる。



## 5 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格

日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格は、日本スポーツ協会が国民スポーツの振興と競技力向上にあたる各種スポーツ指導者の資質と指導力の向上を図り、指導活動の促進と指導体制を確立するために設けている。学校教育現場や民間、地域で体育・スポーツ関連の指導を行う上で有効で重要な資格である。各資格は対象者や用途に応じて細分化されており、多岐に渡るため、詳細は日本スポーツ協会ホームページにて確認すべきである。(http://www.japan-sports.or.jp/coach/index.html)

本来は(財)日本スポーツ協会が実施する資格ごとに設定された理論、実技及び指導実習の講習会を受講し、検定試験に合格しなければならない。しかし、本学科では指定された授業科目を修得することにより、資格取得のベースとなる共通科目Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの講習会への参加が免除され、次頁表科目のジュニアスポーツ指導員とスポーツプログラマー資格の受験資格が得られる(共通科目検定試験の受験及び受講完了申請手続きが必要)。ジュニアスポーツ指導員は地域スポーツクラブ等において、幼・少年期子どもたちに遊びを通した身体づくり、動きづくりの指導を行うこと、スポーツプログラマーは主に青年期以降のすべての者に対し、地域スポーツクラブなどにおいて、フィットネスの維持や向上のための指導・助言を行うことを目的とした資格である。

表. 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の分類

資格の分類	資格の名称
競技別指導者	コーチ1、コーチ2、コーチ3、コーチ4、教師、上級教師
スポーツ指導基礎資格	スポーツリーダー(卒業時に申請のみで取得可)
フィットネス資格	ジュニアスポーツ指導員、スポーツプログラマー
メディカル・コンディショニング資格	アスレティックトレーナー、スポーツ栄養士
マネジメント指導者資格	アシスタントマネージャー、クラブマネージャー

## 6 日本トレーニング指導者協会認定 トレーニング指導者 (JATI)

一般人からトップアスリートまで、あらゆる対象や目的に応じて、科学的根拠に基づく適切な運動プログラムの作成と指導ができる専門家であることを証明する資格である。

名桜大学は、2007年10月から、当協会のトレーニング指導者養成校として認定されている。(日本トレーニング指導者協会の認定試験の受験資格が得られる)

### JATI認定資格の種類

- (1) トレーニング指導者 (JATI-ATI: Accredited Training Instructor)  
基礎資格 トレーニング指導者として必要な知識と技能を取得した人
- (2) 上級トレーニング指導者  
(JATI-AATI: Advanced Accredited Training Instructor)  
上級資格 高度な知識と技能を有し、後進の指導的立場になりうる人

(3) 特別上級トレーニング指導者

(JATI-SATI : Senior Accredited Training Instructor)

最上級資格 きわめて高度な知識と技術を有するとともに、すぐれた指導実績を持ち、業界の社会的地位向上を担う人

## 7 社会福祉主事任用資格

社会福祉主事任用資格は、社会福祉の現場で働く人々にとって、最も基礎的な資格である。本学科で開設されている厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目（社会福祉概論、社会福祉援助技術、児童福祉、介護概論、医学一般、看護学、栄養学など）から、3科目以上を履修し卒業した者が取得できる。（※指定科目を修得しているかを必ず厚生労働省ホームページにて、自身で確認すること。）社会福祉主事の任用条件を満たしているかについては、履修済科目が記載された大学の成績証明書及び卒業証明書を、本人が雇用先に提示することにより証明される。

社会福祉主事任用資格は、都道府県、市町村の行政職や福祉職などの公務員試験に合格して、福祉事務所のケースワーカーなどに就く場合に効力をもつ資格である。また、社会福祉施設の職員などにも準用される資格となっている。

社会福祉主事の主な職場
行政機関（福祉事務所、児童相談所など） 児童福祉施設、障害者福祉施設、高齢者福祉施設など

## II 免許・資格取得関係科目履修時の留意点

1. 免許・資格取得を目指す場合、p77～79の免許・資格取得関係科目一覧表を参考に履修計画を立てること。
2. 免許・資格取得関係科目一覧表について  
p77～79の免許・資格取得関係科目一覧表は、各免許・資格に関連する科目について、免許・資格取得において必ず履修しなくてはならない科目を◎印（必修）、科目区分から選択していくつか履修する必要のある科目を○印（選択必修）をそれぞれに明記している。空欄はいずれの領域でも履修可能科目である。  
※不明な点があれば、指導教員等に確認しながら行うこと。

【人間健康学部スポーツ健康学科】免許・資格取得関係科目一覧表（資格との関連 ○：必修 ○：選択必修）

区分	科目名	単位数				スポーツ領域					健康領域				履修前提科目等		
		受講年次	必修	選択	自由	保健体育教諭	日入協I+II+III	日入協JS	日入協SP	JATI	健康運動実務指導者	養護教諭	健康運動指導士	健康運動実務指導者		第一種衛生管理者	
共通コア科目	アカデミックスキル	教養演習Ⅰ	1	2												教養演習Ⅰ	
		教養演習Ⅱ	1	2													
		コンピュータ・リテラシー	1	2			○										
		数理・データサイエンス・AI入門	1	1	2												
		アカデミックライティングⅠ	1	1	2												
		アカデミックライティングⅡ	1	1	2												
	デザイン	アカデミックスキル特別講義	1	1	2												
		大学と人生	1	1	2												
		ライフデザイン特別講義	1	1	2												
		キャリアデザイン	2	2	2												
		プロジェクト学習	2	2	2												
		人間と環境	1	1	2												
	思想と論理	人生と倫理	1	1	2												
		科学入門	1	1	2												
		論理学	1	1	2												
		現代思想	1	1	2												
		思想と論理特別講義	1	1	2												
		沖縄理解	1	1	2												
	健康スポーツ	沖縄の自然言語	1	1	2												
		沖縄理解特別講義	1	1	2												
		体育実技Ⅰ	1	1	1								○				
		体育実技Ⅱ	1	1	1								○				
		健康・スポーツ科学	1	1	2												
		健康スポーツ特別講義	1	1	2												
	教養教育科目	外国語	健康スポーツ特別実技	1	1	2											
ベーシック・イングリッシュ			1	1	2									○			
イングリッシュ・コミュニケーション			1	1	2									○			
ドイツ語Ⅰ			1	1	2												
ドイツ語Ⅱ			1	1	2												
フランス語Ⅰ			1	1	2												
共通選択科目		フランス語Ⅱ	1	1	2												
		スペイン語Ⅰ	1	1	2												
		スペイン語Ⅱ	1	1	2												
		ポルトガル語Ⅰ	1	1	2												
		ポルトガル語Ⅱ	1	1	2												
		中国語Ⅰ	1	1	2												
		中国語Ⅱ	1	1	2												
		韓国語Ⅰ	1	1	2												
		韓国語Ⅱ	1	1	2												
		タイ語Ⅰ	1	1	2												
国際理解		外国語特別講義Ⅰ	1	1	2												
		外国語特別講義Ⅱ	1	1	2												
		アカデミック英語基礎	2	2	2												
		プラクティカル・イングリッシュⅠ	2	2	2												
		プラクティカル・イングリッシュⅡ	2	2	2												
		ビジネス英語Ⅰ	2	2	2												
		ビジネス英語Ⅱ	2	2	2												
		国際学入門	1	1	2												
		異文化接触論	1	1	2												
	国際社会と日本	1	1	2													
人文科学	人権と平和	1	1	2													
	国際コミュニケーション論	1	1	2													
	海外スタディツアー	1	1	2													
	国際理解特別講義	1	1	2													
	音楽の歴史と鑑賞	1	1	2													
	美術の歴史と鑑賞	1	1	2													
	哲学	1	1	2													
	歴史学	1	1	2													
	教育学	1	1	2													
	ヒューマンケアリング	1	1	2													
人文科学特別講義	1	1	2														

学Ⅰ 人間の健康  
 Ⅱ 学修について  
 Ⅲ 履修登録から単位修得まで  
 Ⅳ 教養教育について  
 Ⅴ スポーツ健康学科について  
 Ⅵ 看護学科について  
 Ⅶ 健康情報学科について  
 Ⅷ 副専攻について  
 ⅧⅠ 諸手続き  
 X 学則・諸規程  
 XI 付録

【人間健康学部スポーツ健康学科】免許・資格取得関係科目一覧表（資格との関連 ○：必修 ○：選択必修）

区分	科目名	学	1	2	単位数				スポーツ領域				健康領域				履修前提科目等		
					受講年次	必修	選択	自由	保健体育教諭	日入協I+II+III	日入協JS	日入協SP	JATI	健康運動実務指導者	養護教諭	健康運動指導士		健康運動実務指導者	第一種衛生管理者
教養教育科目	共通選択科目	社会科学	法憲学	1	2														
			政治学	1	2														
			経済学	1	2														
			経営学	1	2														
			社会学	1	2														
			人文地理学	1	2														
			社会科学特別講義	1	2														
	自然科学	数学	1	2															
		統計学	1	2															
		物理学	1	2															
		化学	1	2															
		生物	1	2															
		情報科学と社会学	1	2															
		自然科学特別講義	1	2															
専門基礎教育科目	スポーツ健康学総論	1	2																
	スポーツ健康演習	1	2																
	ウエルネス概論	1	2																
	発育発達学	1	2																
	救急処置論	1	2																
	生涯スポーツ論	1	2																
	人体機能学	1	2																
	社会福祉概論	2	2																
	医学一般	2	2																
	解剖学	2	2																
	生理学・運動生理学	2	2																
	衛生学・公衆衛生学	2	2																
	栄養学	2	2																
	体育原理	1	2																
	スポーツ健康学特別講義I	1	2																
	スポーツ健康学特別講義II	1	2																
	スポーツ健康学特別実技I	1	1																
	スポーツ健康学特別実技II	1	1																
	運動学	1	2																
	体育心理学	2	2																
	体育社会学	2	2																
体育経営管理学	3	2																	
コーチング学	2	2																	
トレーニング論	2	2																	
体力・健康測定と評価	3	2																	
スポーツ指導論	3	2																	
スポーツ栄養学	2	2																	
スポーツマネジメント	3	2																	
スポーツ障害と予防	3	2																	
運動処方論	3	2														生理学・運動生理学			
安全管理論及び方法	2	2																	
野外教育論	2	2																	
レジャー・レクリエーション論	2	2																	
空手・古武道概論	3	2																	
体育・スポーツ史	3	2																	
スポーツバイオメカニクス	2	2																	
球技論	3	2																	
健康教育	2	2																	
学校保健	2	2																	
精神保健	3	2																	
養護概説	3	2																	
看護学	2	2																	
看護基礎技術	2	2																	
学校救急看護学	3	2														解剖学、看護学 看護基礎技術			
健康相談活動の理論及び方法	3	2																	

【人間健康学部スポーツ健康学科】免許・資格取得関係科目一覧表（資格との関連 ○：必修 □：選択必修）

区分	科目名	受講年次	単位数				スポーツ領域					健康領域				履修前提科目等	
			必修	選択	自由	保健体育教諭	日入協I+II+III	日入協JS	日入協SP	JATI	健康運動実務指導者	養護教諭	健康運動指導士	健康運動実務指導者	第一種衛生管理者		
専門教育科目	医学一般	II	2	2					○								
	病理学	学	2	2													○
	免疫学	学	2	2													
	微生物学	学	2	2							○						
	薬理概論	論	3	2	2												
	健康心理学	学	2	2	2							○					
	心の健康	学	2	2	2												
	保健衛生学	学	2	2	2					○							○
	労働衛生概論	論	3	2	2												○
	労働法規Ⅰ	Ⅰ	3	2	2												○
	労働法規Ⅱ	Ⅱ	3	2	2												○
	介護概論	論	2	2	2						○		○	○			
	社会福祉援助技術	術	2	2	2												社会福祉概論
	児童福祉	社	2	2	2												社会福祉概論
	障害者・高齢者福祉	社	2	2	2												社会福祉概論
	グローバルヘルス	学	2	2	2												社会福祉概論
	生理学・運動生理学	演習	3	2	2												生理学・運動生理学
	衛生学・公衆衛生学	演習	3	2	2							○					衛生学・公衆衛生学
	動作学	演習	3	2	2					○							スポーツバイオメカニクス
	スポーツ心理学	演習	3	2	2					○							体育心理学
	トレーニング論	演習	3	2	2					○	○	○		○	○		トレーニング論
	海洋スポーツ	演習	3	2	2												
	看護実習Ⅰ	Ⅰ	3	1	1								○				看護基礎技術
	看護実習Ⅱ	Ⅱ	3	2	2								○				看護実習Ⅰ
	運動負荷試験	Ⅲ	3	1	1									○			運動処方論
	健康産業施設等現場実習	Ⅳ	3	2	2									○			運動処方論
	コーチング演習	Ⅴ	3	2	2												
	体づくり運動	Ⅵ	2	1	1			○			○						
	器械運動	Ⅶ	1	1	1			○									
	陸上競技	Ⅷ	1	1	1			○			○						
	水泳	Ⅸ	1	1	1			○			○		○				
	バスケットボール	Ⅹ	1	1	1			○									
	ハンドボール	Ⅺ	1	1	1			○									
	サッカー	Ⅻ	1	1	1			○									
	バレーボール	Ⅼ	1	1	1			○									
	卓球	Ⅽ	2	1	1			○									
	ソフトボール	Ⅾ	3	1	1			○									
	柔道	ⅰ	3	1	1			○									
	剣道	ⅱ	3	1	1			○									
	空手	ⅲ	2	1	1			○									
	舞踊	ⅳ	3	1	1			○									
	琉球舞踊	ⅴ	3	1	1			○									
エアロビクスⅠ	ⅴ	2	1	1					○			○	○				
エアロビクスⅡ	ⅵ	3	1	1					○			○	○				
レクリエーション実技	ⅶ	3	1	1					○	○							
ゴルフⅠ	ⅴ	1	1	1													
ゴルフⅡ	ⅵ	1	1	1												ゴルフⅠ	
ウインドサーフィン	ⅶ	2	1	1													
スクーバダイビングⅠ	ⅶ	1	1	1													
スクーバダイビングⅡ	ⅶ	2	1	1												スクーバダイビングⅠ	
スキー・スノーボード	ⅶ	1	1	1													
テーピング・マッサージ	ⅶ	2	1	1													
インターンシップⅠ	ⅶ	2	2	2													
インターンシップⅡ	ⅶ	2	2	2												インターンシップⅠ	
地域ウェルネスプロジェクト	ⅶ	3	2	2													
卒業研究演習Ⅰ	ⅶ	3	2	2												卒業研究演習Ⅰ	
卒業研究演習Ⅱ	ⅶ	3	2	2												卒業研究演習Ⅱ	
卒業研究演習Ⅲ	ⅶ	4	2	2												卒業研究演習Ⅲ	
卒業研究演習Ⅳ	ⅶ	4	2	2												卒業研究演習Ⅳ	

※「A」は「コーチング演習」または「教育実習」から1科目選択

※◎◎◎◎が記載された科目からそれぞれ1科目以上選択

学Ⅰ  
部人  
間の  
概要

Ⅱ学  
修に  
ついて

Ⅲ履  
修登  
録か  
ら

Ⅳ教  
養教  
育

Ⅴス  
ポーツ  
健康

Ⅵ看  
護学  
科

Ⅶ健  
康情  
報学  
科

Ⅷ割  
り専  
攻

Ⅸ諸  
手続  
き

Ⅹ学  
則・  
諸規  
程

Ⅺ付  
録

